

静岡市立美和小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年4月12日(木)

今年度最初の出前授業

いよいよ今年度も出前授業が始まりました。

4月12日(木)、静岡市立美和小学校を訪問、6年生の皆さんが「土器の分類」「石器(黒曜石)の試し切り」「火起こし」の古代体験に挑戦しました。

「歴史」学習の始まりに、本物の土器に触れたり、実際に石器で野菜や紙を切ったり、火起こしを体験することを通して古代の人々の暮らしに触れ、これからの学習に関心をもって取り組んでくれることを期待しています。



◎土器分類体験

◎石器(黒曜石)試し切り体験



3つの時代(縄文・弥生・古墳)の土器についての説明を受け、本物の土器片をみんなで分類してみました。それぞれの時代の土器の特徴や違いを実際に手で触れながら選別分類に挑戦しました。



黒曜石の石器を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚いていました。また、昔の人々は鋭く尖る石を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行き石器として使用しています。それが、自然のガラスである黒曜石です。

◎火起こし体験



実際に挑戦してみると、火を起こすことは大変でした。最初は、なかなか火が付きませんでしたが、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起こすことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の苦労や工夫を感じることができました。私たち人類は、火を使うことで、明るく・暖かく、こわい動物におそわれたりせずに暮らすことができるようになったばかりでなく、煮たり焼いたり食物をおいしく食べることもできるようになりました。